

下 鴨



京都市立下鴨小学校 電話 075-781-0382
校長 大橋 巧 FAX 075-781-6976
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/shimogamo-s/>

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましてはますます健勝のことと存じ上げます。また、平素より下鴨小学校学校教育にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

前期の「よりよい下鴨をめざして」アンケートの集計ができましたので皆様にお知らせいたします。結果をもとに保護者・地域・学校の連携をさらに進め、よりよい下鴨小学校にしていきたいと思います。

今年度は、京都市の学校評価システム理念のもと、昨年度のご意見・ご感想を反映し、より多くの方々がそれぞれのお立場で前期を振り返り、今後につなげていってもらえるようなものにしたいと思い、学校運営協議会開かれた学校委員会の方々とともに意見交流をしながら、今回の実施に至りました。また多くの方々にとって読みやすいものを意識しながら様式も変更しました。皆様からのご意見等を詳しく読みたい方は、11月2日(月)から

13日(金)の間に職員室へお越しいただけたらと思います。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。



◎アンケート結果に対する学校の考察

全体的に昨年度の後期に実施した学校評価アンケートよりポイントを下げているのが多かったです。特にPTA行事や地域行事については、新型コロナウイルス感染症によりほとんどが実施できていないことや参加を控える動きがあったことが原因ではないかと考えています。さらに、児童⑬や保護者⑫、教職員⑬の結果を見ても、進んで外遊びをしたり声かけをしたりできていないことがわかります。

児童⑤、保護者④、教職員⑤、地域③の結果や昨年度のものと比較しても、あいさつについては、「できていない」と答えているものが増えました。これについても新型コロナウイルス感染症への不安もあり、登校中の児童の様子を見ても例年よりあいさつにくそうにしている姿も見られます。それでも、児童の中には、顔を見て会釈をしたり、小さな声ではありますが「おはようございます」と言ったりする児童も多くいます。あいさつの工夫について、学校長や学級担任等から話をしたり考えたりしています。このような時期だからこそ、みんなが気持ちよく過ごせる方法やよりよい下鴨をめざして実践していきたいと思います。

学習について教職員は、子ども一人一人にわかりやすい授業を心がけ実施しています。そのことで、児童・保護者は授業がわかりやすいと感じているようです。また9割の児童がこれまでに学習したことが分かっていると回答しています。

児童③の結果からも、「友だちのがんばりを見つけ伝えている」の項目は、昨年よりも1割程度向上しています。帰りの会などで「いいところみつけ」をするなど、友だちのよさについて伝える場も設定しているクラスもあります。感染症拡大防止の観点からも、いつものように友だちとの関わりがもちにくく関わりが希薄化されることも想像できますが、言葉や態度で伝える機会を意図的に増やすことで、お互いの心の距離を縮めることができたのではないかと思います。まだまだ例年通り学校生活が送れる訳ではないので、引き続き取組を進めながら児童同士の心の距離を縮めていくように取り組んでいきたいと思います。

◎ 学校運営協議会理事会・開かれた学校委員会からのコメント

多くの自由記述からは、新型コロナ感染症状況下で、休校、休校補償のための短縮授業・授業時数増、遊びや運動の制約、生活リズムの狂いなどが生じ、子ども達も大人も大きな不安やストレスを抱いていることが伺えました。一方で、おそらく迅速には収束しないであろう状況の中で、それぞれができる事をしていこう、また、その努力に感謝したり応援したりしようとする姿も見え、心強くも感じました。学校への要望や不満を洗い出すことは教育における改善サイクル(PDCA)のひとつとして大切であり、学校が問題を真摯に受け止め、必要かつ可能な改善を行っていくことができるよう、運営協議会と一緒に考えていきます。同時に、教育のPDCAには、子ども達が自分自身について、保護者や教職員が自分自身と子ども達への関与について、しっかりと自覚し、この後どう行動していくべきのかの「気づき」を得ることも必要です。集計からは、子ども達と保護者の間でのコミュニケーションや意志形成に関わる項目や自発的な取組に関わる項目で、低い評価が比較的多いことがやや気になりました。家庭での対話や学校での学びを通じて、子ども達が不安やストレスを緩和し、より積極的に考え方行動しようとする気持ちを高め、友人との関係も深めていくことができるとよいですね。運営協議会も各種の活動を通じて、そのお手伝いをしていきたいと考えています。

【児童・保護者・地域・教職員アンケート結果】

【児童】	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1 私は 学校で 楽しく 過ごしている。	70.2%	24.4%	4.5%	0.9%
2 私は 友だちと 仲良く 遊んでいる。	73.4%	23.8%	2.0%	0.8%
3 私は 友だちの がんばりを見つけ 伝えている。	32.5%	42.0%	19.6%	5.9%
4 私は 自分やみんなのものを 大切にしている。	68.9%	28.5%	2.0%	0.6%
5 私は 進んで あいさつを している。	57.5%	31.4%	10.8%	0.3%
6 私は 学校のことを 家で 話している。	58.7%	24.7%	12.4%	4.1%
7 私は 学校や家で 自分から 進んで 学習に取り組んでいる。	47.2%	38.3%	11.1%	3.3%
8 私は これまでに 学習したことが わかっている。	53.6%	37.1%	8.7%	0.6%
9 私は 進んで 本を読んでいる。	64.4%	20.9%	10.0%	4.7%
10 私は 人の話を 最後まで 聞いている。	57.5%	37.3%	4.7%	0.5%
11 私は 自分の考えを 話せている。	43.9%	34.0%	18.1%	4.0%
12 私は 早寝・早起き・朝ごはんなど 規則正しい生活を している。	43.4%	39.9%	13.8%	3.0%
13 私は 外で 遊んだり スポーツしたり している。	60.8%	22.9%	13.6%	2.8%
14 私は 次日の準備など 自分のことは 自分でしている。	70.1%	25.0%	4.9%	0.0%
15 私は 安全に気をつけて 生活 している。	74.9%	20.9%	4.2%	0.0%
16 私は みんなから 大切に されている。	56.1%	36.3%	5.9%	1.7%
17 私は PTA行事や 地域行事に 進んで 参加している。	28.2%	34.3%	18.9%	18.7%

【保護者】	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
1 私は わが子から 仲の良い友だちの名前を 聞いている。	53.7%	37.2%	6.1%	3.0%
2 私は わが子から 本人(わが子)や友だちの がんばりを 聞いている。	46.3%	39.9%	11.1%	2.7%
3 私は わが子に 自分のものや みんなのもの を 大切にするように 話している。	48.3%	48.6%	2.4%	0.7%
4 私は わが子に 進んで あいさつできるよう 話している。	51.4%	42.2%	6.1%	0.3%
5 私は わが子から 学校の様子について 聞いている。	40.7%	46.1%	12.5%	0.7%
6 私は わが子が 進んで学習できるような 環境づくりや声かけをしている。	28.7%	55.7%	14.9%	0.7%
7 私は わが子の 学習状況を 知っている。	26.4%	58.1%	13.5%	2.0%
8 私は わが子が 読書に 向かっていけるよう している。	29.7%	41.2%	26.0%	3.0%
9 私は わが子に 話を最後まで聞くことの大 切さについて 話している。	27.0%	54.7%	17.2%	1.0%
10 私は わが子の思いを 聞くようにしている。	34.6%	54.9%	10.5%	0.0%
11 私は わが子に 早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活ができるようにしている。	41.6%	42.2%	15.2%	1.0%
12 私は わが子に 外遊びや運動をする機会を設けている。	38.2%	33.4%	26.4%	2.0%
13 私は わが子に向けて 自分のことは自分でできるように取り組んでいる。	33.6%	55.3%	11.2%	0.0%
14 私は わが子に 安全に気をつけて 生活できるように話をしている。	53.4%	44.6%	1.7%	0.3%
15 私は わが子のことについて、先生に気軽に相談している。	23.0%	52.4%	19.9%	4.7%
16 私は PTA行事や学校行事・地域行事に 進んで参加している。	10.5%	43.2%	36.1%	10.1%

【教職員】	適合度			
	そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わない
1 私は 困っていることがあると 先生に 相談できると思う。	47.7%	34.2%	12.5%	5.6%
2 私は 授業が わかりやすい と思う。	68.2%	26.1%	4.3%	1.5%

【地域】	適合度			
	そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わない
1 学校は、子ども一人一人を 大切にした教育活動を行っていると思う。	22.7%	69.6%	6.3%	1.4%
2 学校は、子どもにわかりやすい授業を進めて いると思う。	26.6%	69.6%	3.5%	0.3%
3 わが子は、学校に行くことを楽しんでいる と思う。	42.3%	47.2%	8.0%	2.4%

【児童】	適合度			
	そう思う	大体そう 思う	あまりそう 思わない	そう思わない
1 私は 子ども達が学校で楽しく過ごせるよう に取り組んでいる。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
2 私は 子ども達が友だちと仲良く遊べるよう に取り組んでいる。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
3 私は 子ども達同士でがんばりを認め合える ように取り組んでいる。	25.0%	70.0%	5.0%	0.0%
4 私は 子ども達が自分やみんなのものを大切 にできるように取り組んでいる。	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%
5 私は 子ども達が進んであいさつできるよ うに取り組んでいる。	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%
6 私は 子ども達が学校での出来事を家で話す ように取り組んでいる。	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
7 私は 子ども達が進んで学習できるように取 紹んでいる。	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
8 子ども達は 学習したことを理解している。	10.0%	85.0%	5.0%	0.0%
9 私は 子ども達が読書に向かっていけるよ うに取り組んでいる。	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%
10 私は 子ども達が人の話を最後まで聞けるよ うに取り組んでいる。	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%
11 私は 子ども達が自分の考えを伝えられるよ うに取り組んでいる。	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%
12 私は 子ども達が進んであいさつできるよ うに取り組んでいる。	25.0%	65.0%	10.0%	0.0%
13 私は 子ども達が外遊びに向かっていけるよ うに取り組んでいる。	25.0%	55.0%	20.0%	0.0%
14 私は 子ども達に自分のことは自分でするよ うに取り組んでいる。	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%
15 私は 子ども達に安全指導をしている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
16 私は 子ども一人一人を大切にした教育活動 を取り組んでいる。	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%
17 私は 子ども達の困りに耳を傾けている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
18 私は 子ども一人一人にわかりやすい授業を 心がけている。	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%



保護者・地域自由記述欄の内容について

◎自由記述欄についての学校からの回答・考察



《学校行事・学校に対して》

新型コロナウイルス感染症対策により、学校行事が中止や縮小、延期になっていることを残念だと感じている方や先行き不透明であることへの不安感などが多く書かれていました。このまま来年度以降もなくなるのではないかというご心配も頂きました。感染症対策とはわかっているものの、「最終学年だからこそ、修学旅行だけは…」というお声も多かったです。

また、週3回程度の7時間授業や休み時間の遊び方、図書館開放回数の縮小など、子ども達のストレスの大きさについてのご意見も多数ありました。



《授業・学級について》

授業や学級の雰囲気などについて、感謝の気持ちが多数寄せられました。特に学校で授業が受けられることや友だちとの関わりなど、休校が明けてからの学校生活が充実していることなど喜びの声が多数ありました。その反面、授業進度の速さや定着しきれていないなど、心配のお声もいただきました。

またカリキュラムの進行具合についてのご質問や授業についてのご指摘、ご意見などもありました。



《児童の様子について》

学校再開の喜びはあるものの、休校明けから新しい学校生活の様式に慣れるまでなど、子ども達の様子についていろいろと教えていただきました。また朝の登校中、なかなかあいさつが返ってこないことやつらそうな表情で登校している子等、地域や保護者の方々からの心配の声もいただきました。

友だち関係のご相談や親子関係、学校生活における不安などについてのご意見もいただきました。



《新型コロナウイルス感染症関連について》

新型コロナ対応について、多くの感謝の気持ちを伝えていただきました。また、授業者がマスク着用のままの授業や消毒作業等の業務が増えたことへの労い、協力していきたいとのお声もいただきました。



新型コロナ感染者が出たときの学校名公表や保護者への情報提示等についてのご意見もありました。「手洗いだけではなく、感染防止のための取組はどのようなものをしていて、子ども達はどの程度きちんとできていますか。」というようなご意見もあり、学校としての取組だけではなく、感染予防をしている子ども達の様子についてもありました。

《その他》

「子どもたちがより安心で、安全に過ごしていくためにも、学校と地域、保護者との連携を深めていくことが重要です。密に連絡を取りながら、子ども達を見守っていきたい」というお声もありました。またHPに関するお声やエアコン等教室環境についてのご意見等もありました。

学校に対する厳しいご意見やアンケート実施に関するご意見なども寄せられ、個人の思いを綴っていました。

《児童自由記述欄》

得意な授業や担任の先生との学習の楽しさについての意見がありました。その他にも、マスク着用することや新型コロナウイルス感染症終息を願う声、感染症への不安について多く書かれていました。

また図書室開放や休み時間の遊び方、日々の学校生活における悩みごとや困りごと、家庭内での困りごとなどを書かれていました。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校が約2ヶ月間ありました。その間保護者の方々地域の方々には、多大なるご理解ご協力いただけたことに感謝いたします。特に、感染症対策への感謝や温かいお言葉もたくさんいただきました。学校生活の大切さについて改めて感じていただけたこともあろうかと思います。学校行事についても、例年通りとはいせず、たくさんの行事が中止や延期となり、子ども達も残念な気持ちになっています。学校としては命を守ることを一番に考えながら、「新型コロナウイルスだからやらない。」のではなく、どうすればできるのか、どのような危険性があるのかを十分に検討し、児童への負担感はもちろん、保護者の皆様の想いも念頭に置きながら、教職員一丸となって子ども達の大切な学校生活を進めていきたいと思います。

休校期間中の学習時間確保もあり、今年度は1コマ40分授業を行い、週3日ほどプラス1時間とっています。ご家庭によって放課後の過ごし方が異なることから、昨年度の下校時刻や学校生活におけるタイムスケジュールなどができるだけ変わらないように時間設定やプラス1時間の日を決めさせていただきました。40分授業、週3回のプラス1時間授業、コロナ対策など、子ども達にとって大変な日々が続いています。もちろんそれは、教職員も同じです。小学校学習指導要領に基づき、学習しなければならないことを授業日数が短くなったこの間にどのように指導していくべきか日々考えています。ただの教え込みではなく、子ども達にとって学びの深いものにできるよう、工夫し努力し続けていきます。



この夏は、熱中症対策をしながらのコロナ対策となりました。エアコンや扇風機の点検や交換などできることは進めています。もちろん換気をするために窓を開けることによって冷気が逃げてしまうこともあります。また教室内の場所によって、体感温度も異なります。今後も子ども達の様子や体調を考慮しながら対策を検討し、進めていきたいと思います。

始業式、終業式の実施方法について、ご心配されるご意見をいただいている。本校の子どもたちの実態から半数程度の人数にすれば、「体育館でソーシャルディスタンスを確保することが可能である」「マスクをつけて会話を控えることができる子どもたちである」と判断すると共に、「できる限りの換気を行う」「式前後の手洗いを徹底する」等の対策を講じた上で、子どもたちには「儀式的行事」を短時間でも経験させたいという思いから、校内放送による式にはいたしませんでした。今後も、その時の感染状況等を考慮しながら、どのように実施するかを検討していきます。

このアンケート自体についてのご意見が届いています。これまでにも「本市では、学校評価システムの導入当初から、保護者・地域等が学校を一方的に評価するのではなく、それがそれぞれの立場で自ら振り返ることを重視してきた」(「京都市の学校評価システム」により)旨を繰り返し伝えしてきました。本校においても学校運営協議会理事会・開かれた学校委員会の皆様に相談しながら、その方針を大切にした上でアンケートに取り組んでいます。また、今年度「できれば固形石鹼ではなく、液体石鹼に変更していただきたい」といった希望を保護者からお聞きしました。ご意見をいただいた頃には「入手が困難であること」「設備上、ボトルの置場に課題があること」「予算の都合上」といった理由から数か月を要しましたが、9月には、それらの条件をクリアすることができたので、児童が使用する洗面所には液体石鹼を置くようにしました。このようにいただいたご意見に対し、検討した上で、変更すべきと判断した場合には、様々な条件をクリアできれば変更してきました。今後も引き続き、よりよい学校生活が送れるよう環境整備に努力して参ります。

